

## 第8回香川県がん診療連携協議会議事要旨

- 1 日 時 平成27年8月5日(水) 16:00～17:15
- 2 場 所 香川県社会福祉総合センター7階 特別会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 事

白川香川大学医学部事務部次長(以下、白川次長という。)から、配付資料の確認後、香川県がん診療連携協議会設置要綱第5条に基づき、本協議会会長の横見瀬香川大学医学部附属病院長(以下、横見瀬議長という。)が議長となり、本協議会の議事を進行する旨の発言があった。

横見瀬議長から、挨拶があり、次に、協議会委員を代表して久米川香川県医師会長から挨拶があった。

引き続き、横見瀬議長から、本日の協議会は、部会長を交えての会議である旨の説明があり、議事に先立ち、第7回香川県がん診療連携協議会議事要旨について確認を行った結果、原案どおり承認された。

### 【審議事項】

#### (1) 香川県がん診療連携協議会相談支援部会実務者連絡会設置について

池田部会長から、相談支援部会の中に香川県がん診療連携協議会相談支援部会実務者連絡会(以下、実務者連絡会という。)を組織することについて、設置規定(案)に基づき提案があった。

笥部会長から、拠点病院以外の病院も実務者連絡会に参加できるフレキシブルな委員の構成についての意見があった。

横見瀬議長から、設置規定第3条に四国こどもとおとなの医療センター、香川県健康福祉部の相談担当者が委員とされており、また、その他相談支援部会会長が必要と認める者を委員とすると規定されている。相談支援部会が幅広く意見を吸い上げて患者さんがよりよい医療を受けられる体制を整えて欲しいとの発言があった。

審議の結果、香川県がん診療連携協議会相談支援部会実務者連絡会設置規定(案)が承認された。

#### (2) 「患者必携 地域の療養情報」の改訂について

青江部会長から、「患者必携 地域の療養情報」が初版より4年が経過し、内容について検討すべき項目もあり、改訂してはどうかとの提案があった。

審議の結果、次のことが承認された。

- ① 香川県が改訂の予算措置を講ずる。
- ② 初版は香川県がん診療連携協議会が作成したが、今後は、香川県が主体となって改訂の作業を行う。

## 【報告事項】

### (1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

白川次長から、平成 27 年 7 月 3 日(金)に国立がん研究センターで開催された「第 8 回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」について資料に基づき特に重点的に取り組むべき以下の点について報告があった。

- 緩和ケアの推進
- PDCA サイクルの確保
- がん診療連携拠点病院等の整備について

横見瀬議長から、緩和ケア研修会は各拠点病院で開催されているのでお互いに活用して欲しいとの依頼があった。

### (2) 香川県がん診療連携協議会各部会からの報告

#### ① 地域連携・パス部会からの報告

青江部会長から、平成 26 年度の以下の成果報告があった。

- 前立腺がんのパスの稼働
- 一般市民啓発（台風のため中止）
- 5 大がんのパスの運用実績と問題点の調査
- 今年度の予定(前立腺がん連携パスの医師、一般への周知会の開催、5 大がん連携パスのさらなる周知、「患者必携 地域の療養情報」の改訂、香川県医療情報ネットワーク (K-MIX+) でのパス運用検討 等)

久米川委員から、労災病院の連携医療機関数が他施設より多いことについての質問があり、多田委員から、かかりつけ医に対して積極的に協力をお願いしていること、また、従前より病診連携に病院として注力しているとの説明があった。

久米川委員から、開業医の立場として各拠点病院から個別にパス連携を依頼されても手続きが重複煩雑になる懸念があるため、アンケートにより希望するパス、医療機関を調査することについての提案があった。

意見交換の結果、地域連携・パス部会が医療機関向けの記入方法等のパンフレット及びアンケートを作成し、医師会がとりまとめを行うこととされた。

#### ② 院内がん登録部会からの報告

辻部会長から、以下の報告があった。

- 実務者会議
- 院内がん登録件数
- 香川県地域がん登録精度
- 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会の報告

#### ③ 相談支援部会からの報告

池田部会長から、以下の報告があった。

- 平成 26 年度の取り組み策

- 平成 26 年度相談支援に関する実績
- 広報（四国新聞広告）
- 香川県がん相談員研修・交流会開催
- 平成 27 年度の取り組み策

川上委員から、最近話題にされているがん患者の就労支援について質問あった。  
池田部会長から、次の説明があった。

- ・香川県の支援を受け社労士の派遣を受けている。
- ・今後は実務者会で討議する。

#### ④ 緩和医療部会からの報告

細川部会長から、以下の報告があった。

- 平成 26 年度緩和医療部会の取り組み策
- 在宅緩和ケアパスとがんマップの完成
- 緩和医療に関する研修会、研究会、セミナー実績
- 平成 26 年度 緩和ケアチーム活動実績、緩和ケア病棟実績
- 平成 27 年度緩和医療部会の取り組み

横見瀬議長から、各施設で申込状況について情報交換を行い、定員数に余裕があれば他施設からの参加を促し、また、ELNEC-についても推進して欲しいとの発言があった。

#### ⑤ 研修・教育部会からの報告

笈部会長から、がんプロ、研修会開催等について報告があった。

#### ⑥ 情報・広報部会からの報告

辻部会長から、以下の報告があった。

- セカンドオピニオンを提示する体制を有する医療機関一覧の作成、情報提供
- がん医療に関する情報交換、広報、普及啓発
- がん医療に関する PDCA サイクルに関すること
- 希少がんに関すること

### (3) 香川県からの報告

佐野香川県健康福祉部健康福祉総務課主幹から、資料に基づき次の報告があった。

- がん患者ニーズ調査の実施について
- 全国がん登録について
- 「地域の療養情報」の改訂について
- 「がん患者理解のための市民公開講座」の開催について